



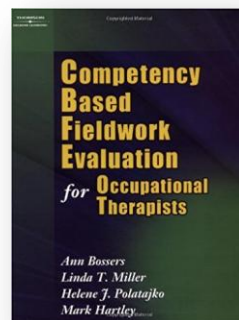
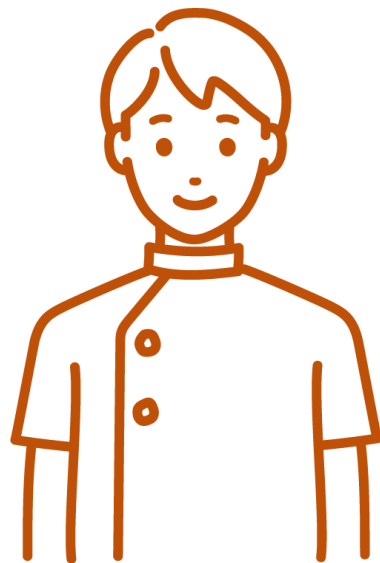
CBFE-OTを用いた実習指導について



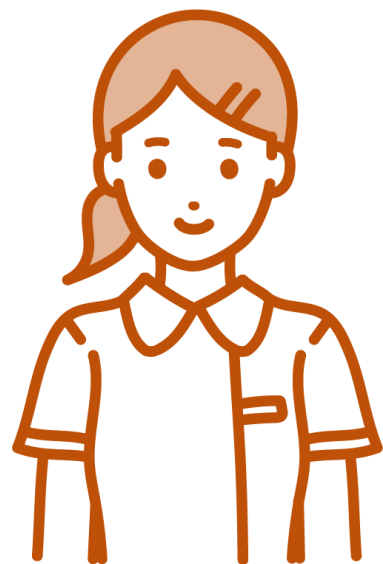
障がい者支援センター「てらだ」

大谷 将之

臨床実習での実践事例



対象学生



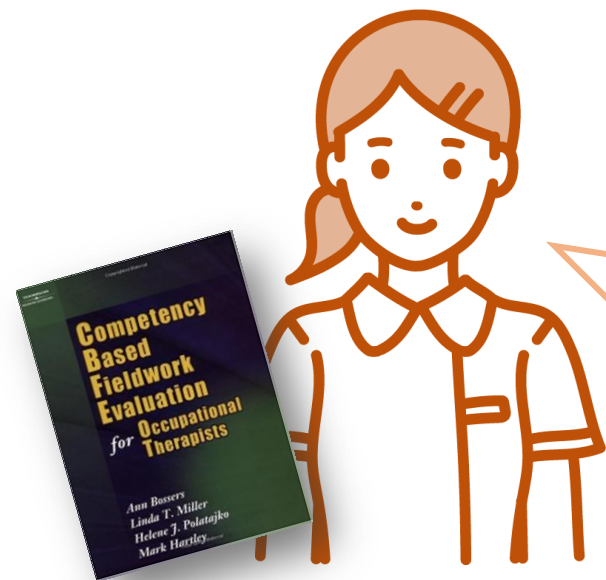
Aさん 専門学校 4年生

8週間の総合臨床実習

性格は真面目であり、少し大人しい。

OTに対してなりたい意欲があるも
専門性についての理解は難しい

目標を考えてもらうにあたって



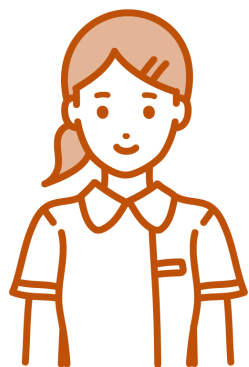
Aさん

どういふことが大事なのか大事なのか分かり、
作業療法士って改めてすごいと感じました！
自身で取り組みたいコンピテンシーはあったのですが
具体的に何をしたらいいのか分からないです・・・

具体的行動基準表 (例)

コンピテンシー	内容	行動基準	興味・関心 (チェック)	特に取り 組みたい
実践に関する知識	対象者／対象者の集団，同僚， 配属施設，及び専門職の要求を 満たす理論的な知識と専門技術 を備えている	疾患や障害特性について説明できる		
		対象者及び環境のストレングスを挙げることができる		
		作業療法のプロセスを理解し，説明することができる		
		対象者を作業的存在として捉えることが出来る		
		作業分析をすることが出来る		
		クライアント中心という用語を理解して，意識した実践をすることが出来る		
		作業と健康の関連について説明することが出来る		
	エビデンスに基づく知識を利用 する	プログラムの分析することができる		
		作業療法に関する本を読む		
		作業療法に関する論文を読む 文献から得られた知識を活用できる		
	専門職の特性と配属施設におけ るその役割を知っている	生活介護，自立訓練がどんなところか説明できる		
		施設としての役割を説明することができる 生活支援の中で作業療法がどのように役立てられるのか説明できる		
	専門職の中核的価値とものの見 方を知っている	作業とは何か自分なりに説明できる		
		作業がなぜ人に必要なのか説明できる		
生活支援に作業の視点がどのように役立つのか説明できる				

経過①

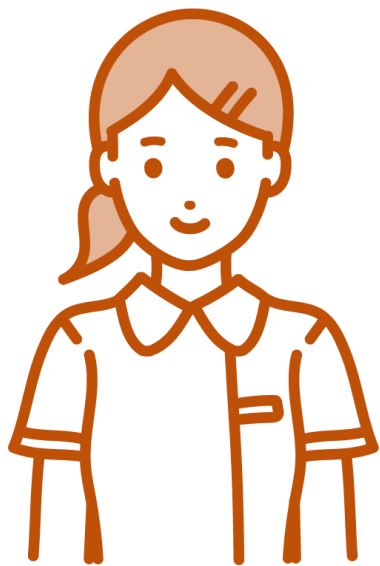


Aさん

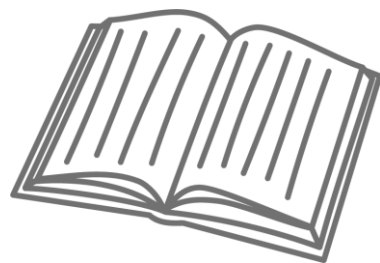
コンピテンシー	選択	取り組みたい内容
実践に関する知識	○	クライアント中心, 作業分析
クリニカルリーズニング		
実践の過程に変化を促すこと		
専門職としての関わり方と責任		
意思の疎通		
専門職としての成長	○	自発的な学習ができる
遂行の自己管理		

実習の中で特に取り組みたい内容について説明, 指導する。
関連する書籍や論文の紹介 (強制しない), アクセスできる情報源について紹介する (医中誌, メディカルオンライン)

経過②

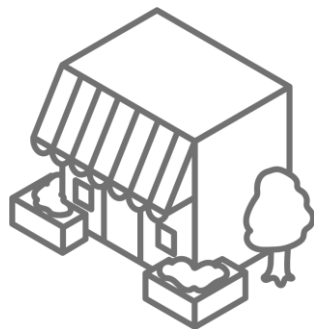


Aさん

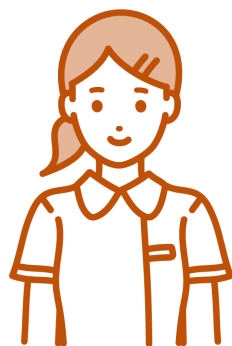


自身で論文を調べたり，指導者に見つけてきた論文を見てもらうなど積極的に自身での学習することが増えた．必要に応じて必要そうな論文を紹介したり，資料を提供する．

経過③



釣具屋



Aさん



クライアント



看護師

クライアントの釣りに行きたい希望について，他職種と連携したり，近隣の釣具屋に電話し，近くでよく釣れるスポットについて問い合わせしたり能動的な取り組みが見られた

結果①

評価	下位項目	1 周目	4 周目	8 周目
CBFE-OT	実践に関する知識		3	4
	クリニカルリーズニング		3	5
	実践の過程に変化を促すこと		4	6
	専門職としての関わり方と責任		4	6
	意思の疎通		4	5
	専門職としての成長		3	4
	遂行の自己管理		4	6
GSES	行動の積極性	4	3	5
	失敗に対する不安	4	3	4
	能力の社会的位置づけ	0	0	0
職業アイデンティティ尺度	医療職選択への自信	13	14	14
	自分の医療職観の確立	12	12	13
	医療職として必要とされることへの自負	10	11	11
	社会貢献への意向	17	17	16

結果②

一人前のOTになるための
見通しを持つことができ、
自分のすべきことに立ち
返れた



自分ごととしての
目標になった

対象者の希望を叶えるために、他機関との連絡・調整を実施したり、論文や文献などを参考にしながら介入を実施するなど能動的に自身で考え、行動するようになった。

まとめ

- CBFE - OTを用いて臨床実習指導を行うことで、**主観的な認識を伴いながら、具体的な行動に結びつく**ことが出来ていた。
- コンピテンシーとして**方向性を示しながら、自身の目標を設定して取り組む**ことによって、より**主体的な学習者としての成長**につながった。
- 今後の課題として、今回は1名に対する実践報告であるため、使用する人数を増やしていきながら有用性の検討をしていく必要がある

まとめ（補足：指導者の使用経験について）

CBFE-OTのマニュアルを読んだ3名のOTRが、長期実習4名と初心者の臨床家1名に実施した際の長所と短所について以下のものが挙げられた

—長所—

【学生側の意見】

- 専門性が理解できた
- 自身の課題を知って取り組むことができた
- 指導者と話をすることで自分自身について整理できた

【指導者側からの意見】

- 学生中心で臨床実習が展開できた
- 振り返りツールとして運用できる

—短所—

【学生側の意見】

- 用語の理解が難しい
- 目標を意識して取り組むことができなかった

【指導者側からの意見】

- コンピテンシーの概念の理解が難しい
- 求められる行動について、指導者と学生の認識にギャップがあった